

AOTS同窓会活動と「ものづくり人材大使」の任命



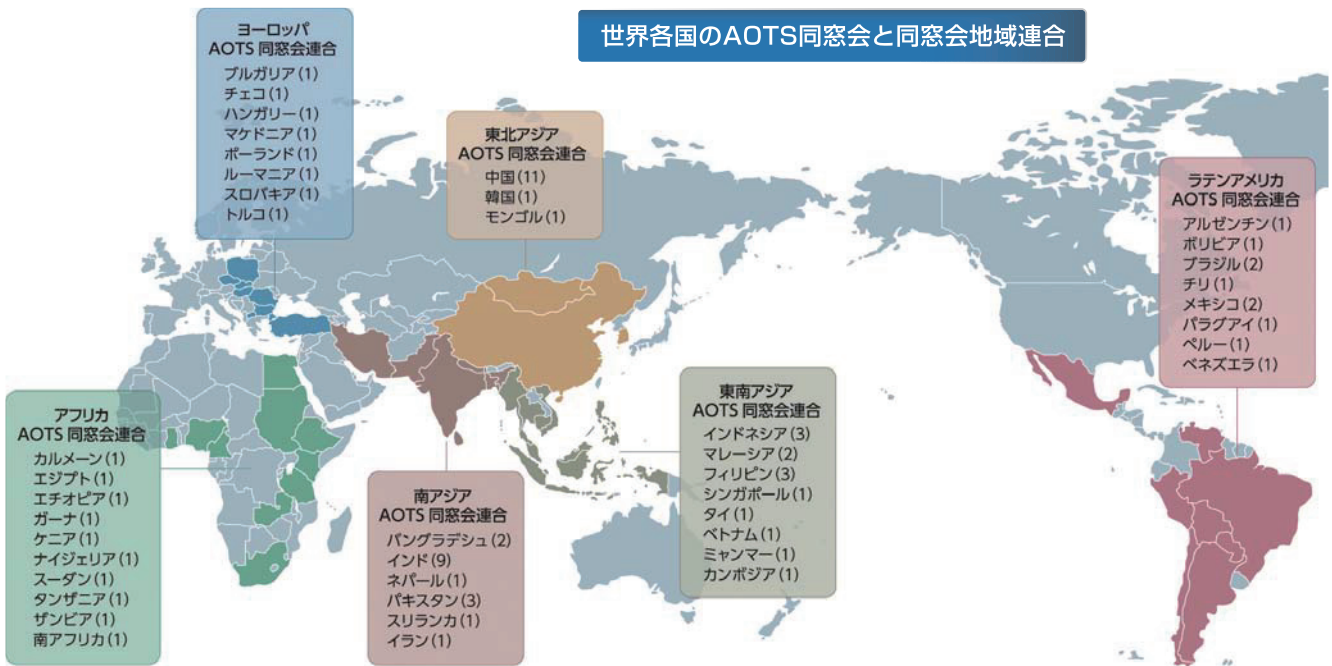
AOTS同窓会とは

AOTS同窓会は、日本で行われた研修の参加者が、帰国後に「AOTS研修」という共通体験をもとに結束し、世界各地で自主的に組織している非営利団体です。AOTS同窓会は現在世界43カ国71カ所に結成されており、人材育成を通じた自国の経済産業の発展と地域社会への貢献とともに、日本や諸外国との友好関係の増進に努めています。

同窓会メンバーの中には、各国の政界、経済界で主要な地位を占める要人も多く、それらネットワークを有する同窓会は、AOTSが日本の産業界のグローバル化を支援していく上でも、重要な役割を果たしています。

単に旧交を温める活動にとどまらず独自の社会貢献活動を続けるAOTS同窓会は内外において非常に評価されており、AOTSの人材育成の成果の証であるとともに、一番の財産でもあります。

世界各国のAOTS同窓会と同窓会地域連合



同窓会の主な活動

1) 会員の親睦活動

- レクリエーション活動

2) 同窓会組織の運営・会員名簿整備

- 機関誌発行
- AOTS海外事務所・日本在外公館等との協力

3) 文化・社会活動・日本語教室

- 来日前オリエンテーション
- 各種社会奉仕活動

4) 人材育成・産業振興活動・AOTSとの協力事業

- 各種機関との人材育成協力推進(研修生募集・推薦、日本人講師派遣による巡回セミナー)

5) 国際協力活動・同窓会間研修生・専門家交換(WNFプログラム)

- 同窓会地域連合会議・同窓会代表者会議参加

各国同窓会の活動の実例

世界43カ国71地域の同窓会活動は、アジア地域だけでなく日本から遠く離れた国地域にもしっかり根付いています。ここではそんな日本人には「少し遠い」国地域でのユニークな同窓会活動をお伝えします。

事例 ペルー同窓会50周年記念式典

2016年11月7日にペルー・リマの日秘文化会館大ホールにてAOTSペルー同窓会の50周年記念式典が実施されました。式典にはAOTSの元研修生でもあるフェルナンド・サバラ首相、アルフォンソ・グラドス労働雇用大臣他、ペルーの政財界から多くの要人の方々に、ご臨席頂きました。また、AOTSの立石譲二専務理事やペルー同窓会のエルネスト・フルカワ会長と同窓会役員、歴代同窓会長、ベネズエラやメキシコのモントレイの同窓会長など総勢約130名の出席のもと盛大に執り行われました。



スピーチを行うサバラ首相

事例 ペルー全国5S大賞授賞式

2016年11月8日には同じくリマの日秘劇場にて、第3回ペルー全国5S大賞授賞式が開催されました。同大賞はペルー同窓会の5S普及活動に端を発し、ペルー同窓会と日本大使館、国際協力機構(JICA)、日本貿易振興機構(JETRO)、日系人会、日秘商工会議所で構成される実行委員会によって2014年から実施されています。ペルーでは「5Sはペルーの人と組織、ひいては国の発展につながる」という考えのもと、企業のみならずリマ大学や、前回の大統領選挙で公平、迅速な開票作業で評判だった選挙過程管理事務所等の公的機関でも5S活動に取り組んでおり、賞に参加しています。



教育機関部門での受賞者

事例 アルゼンチン全国5S大賞授賞式

2016年11月10日は、アルゼンチン・ブエノスアイレス証券取引所ホールにて、第1回アルゼンチン全国5S大賞授賞式が執り行われました。同大賞はAOTSアルゼンチン同窓会がペルー同窓会の例に学び、日本大使館、JICA、アルゼンチン日本商工会議所の他、産業・教育団体や現地の日系企業数社の協力を得て設立に至ったものです。授賞式の翌日には金賞受賞企業の工場見学が実施され、アルゼンチンらしさあふれるクリエイティブな興味深い5S活動が紹介されました。



アルゼンチン5S大賞金賞を受賞した MIMO & Co.の工場にて

同窓会のネットワークにより、中南米をはじめとして今後も多くの国で5Sが普及・発展することを期待します。

事例

東欧の同窓会活動の紹介

～チェコ同窓会主催WNFプログラムとヨーロッパ同窓会連合(EFAAS)会議の開催～

2016年10月11日と12日の2日間、チェコ第3の都市オストラヴァ市において、チェコ同窓会主催によるWNFプログラム(AOTS同窓会間の南南協力活動)が開催されました。

生産性改善に向け、企業が従業員のモチベーションやスキルの向上を図るためにどういった取り組みができるかをテーマに、現地企業の経営者や人材育成コンサルタントによる講演、優良企業の見学会等が行われました。同会議には、自動車部品企業の人事担当者を中心に両日あわせて延べ150名もの参加があった他、21社・団体からの後援・協賛を受ける等、チェコにおける同テーマへの関心の高さが伺えました。

WNFプログラム開催にあわせて、ヨーロッパ同窓会連合(EFAAS)会議も開催され、ブルガリア、チェコ、ハンガリー、マケドニア、ポーランド、ルーマニア、スロバキア、トルコの同窓会から代表者が集結しました。

EFAAS構成国の多くがEUに加盟したことで、昨今同地域からの研修生数は減少していますが、同地域も対象としている低炭素技術輸出促進人材育成支援事業やAOTSの自主事業等で、協力を継続していくことが改めて確認されました。



WNFプログラムにて

事例

AOTSネパール同窓会設立25周年記念式典

及び日本ネパール国交60周年記念行事

2016年7月29日、30日の2日間にわたって、ネパール同窓会設立25周年記念式典および同窓会主催による日本ネパール国交60周年記念行事が、カトマンズ市内のホテルで行われました。

25年以上に亘る地道な同窓会活動は、ネパール人のみならず現地日系社会からも大いに評価されており、式典には、ネパールのカマル・タパ副首相兼外相をはじめ、内閣府次官、通信大臣等の重要閣僚の他、在ネパール日本国大使、ネパール商工会議所会頭、ネパール日本語教師協会会長、日本人会会長に、ご臨席頂きました。日本からは立石譲二専務理事、隣国のバングラデシュからはダッカ・チッタゴン両同窓会のフセイン顧問が出席しました。

近年ネパールから日本への留学生が急増しており、昨年度の留学生数は、中国、ベトナムについで3位となりました。ネパール国内の日本語学校も大きく増加していますが、教育の質や来日後の生活に課題も生じています。2015年4月に発生した震災からの復興道半ばの状況のネパールにあって、日本への期待はますます大きくなっています。こうしたなか、日本での研修経験を通じ親日家として活躍するネパール同窓会は、25年の歴史を経て、ネパールにおける良きアドバイザーとして、ますますの発展が期待されています。



日本ネパール国交60周年記念行事にて。
カマル・タパ副首相兼外相(中央)、
小川正史在ネパール大使館特命全権大使(左から3人目)、
ネパール同窓会長(右から3人目)

「ものづくり人材大使」の創設と任命

○ものづくり人材大使とは

当協会のみならず、我が国にとっても財産ともいふべきAOTS元研修生の活動に積極的動機を与えるとともに、次の世代や周辺国の人材の育成等を奨励するため、2016年10月から「ものづくり人材大使」という表彰活動を始めました。

AOTSの研修を受けた者等のうち指導的役割を果たす方(各国AOTS同窓会長など)に対し、経済産業大臣の海外出張等の機会において、AOTS理事長により任命を行います。

○2016年度の任命

2016年度はタイ、ペルー、インドの3カ国を対象として任命を行いました。任命者の方々は以下の通りです(カッコの数字は受入研修参加年度)。

今後他の国での任命を予定しています。

タイ (2016年10月14日任命: 於経済産業大臣室)

- Mr. Suchai Pongpakpien
ABK-AOTSタイ同窓会長(1997,1998,2010,2014)
- Mr. Supong Chayutsahakij ABK-AOTSタイ同窓会顧問
泰日工業大学 理事長(1968,1984)
- Dr. Bandhit Rojarayanont 泰日工業大学 学長
- Dr. Sucharit Koontanakulvong 泰日経済技術振興協会会長(2014)



METI大臣室での表彰

ペルー(2016年11月20日任命: 於リマ)

- Mr. Fernando Martin Zavala Lombardi
ペルー共和国首相・AOTS名誉同窓生(1998)
- Mr. Alfonso Fernando Grados Carraro
ペルー共和国労働雇用促進大臣・AOTS名誉同窓生(1996)
- Mr. Ernesto Furukawa ペルー同窓会会長(1994,2001,2005)



Grados大臣(左から二人目)にもご出席頂いた日秘会館での表彰

インド(2017年1月9日任命: 於グジャラート)

- Mr. Jacob Kovoor AOTSケララ同窓会会長 (2003)
- Mr. Man Mohan AOTSデリー同窓会会長 (1998, 2003)
- Mr. Premchand Goliya AOTSムンバイ同窓会会長 (1987, 1996)
- Mr. Krishna Murthy AOTSバンガロール同窓会名誉事務局長
(2000, 2007)
- Mr. Uday Neelkanth Raykar AOTSプネ同窓会会長 (1996)
- Mr. Mulvadi Ragupathy Ranganathan
AOTSチェンナイ同窓会チェアマン (1972, 1977, 1985)
- Mr. Ravindra Kalur AOTSハイデラバード同窓会会長 (2005)
- Mr. Jayanth Murthy AOTSグジャラート同窓会会長 (1998)



グジャラートに勢ぞろいしたインドの同窓会幹部への表彰

新輸出大国コンソーシアムへの 参画と中堅・中小企業の 海外展開支援

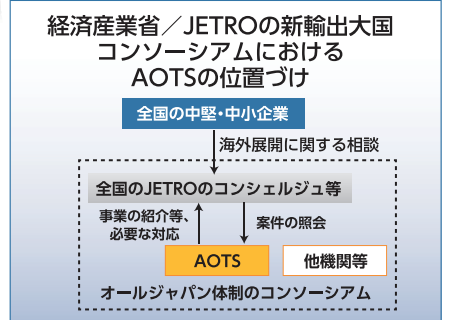


新輸出大国コンソーシアムへの参画

日本の中堅・中小企業の海外展開をオールジャパン体制で支援する活動として、経済産業省および日本貿易振興機構(JETRO)による「新輸出大国コンソーシアム」がスタートしました。

「新輸出大国コンソーシアム」は、政府系機関、地域の金融機関や商工会議所等、国内各地域の企業支援機関が幅広く結集し、海外展開を図る中堅・中小企業等に対して総合的な支援を行っており、AOTSは支援機関としてその一翼を担っています。

近年、AOTSではこういった海外展開を希望する企業の方々の状況に合わせて公的事業から自主事業まで実施しており、海外展開のフェーズ別に支援を推進しています。



【海外展開サポートのサービスメニュー】

計画策定段階

事業準備段階

事業開始・拡大段階

【情報収集・販路開拓】 現地情報収集・市場調査・人脈形成等

1. 海外視察ミッション

2. 海外販路開拓セミナー

3. 海外市場調査

【パートナー探し】 海外取引先・現地サプライヤー等の開拓

4. ビジネスマッチングサービス

【国内体制整備・国内人材育成】 日本人社員の人材育成・現地情報収集・人脈形成等

5. GHC海外インターンシップ

【日本語】 外国人社員の日本語コミュニケーション能力向上等

6. にほんご e-learning

7. オンデマンド日本語研修

【海外投資・進出／技術移転／海外人材育成】

海外現地子会社・取引先企業等の社員の人材育成

8. 受入研修事業 (METI補助事業)

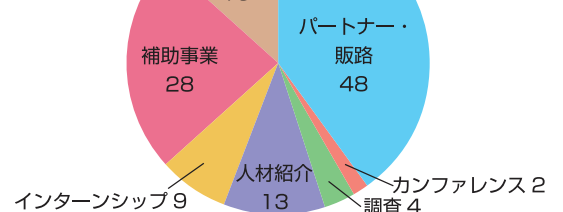
9. 専門家派遣事業 (METI補助事業)

AOTSではこうした各種ツールを活用し、JETROのコンシェルジュから紹介される中堅・中小企業からの問い合わせ・要望に対して精力的に対応しています。具体的な対応状況は右図のとおりです。

国別の要望としては、ベトナム、タイ、インドネシアが上位を占めています。

また、その他JETROが主催する地方での説明会に協力するなどを実施しています。

JETRO・コンシェルジュからAOTSへの問い合わせの内訳 (n=120)



地方の中堅・中小企業の支援例

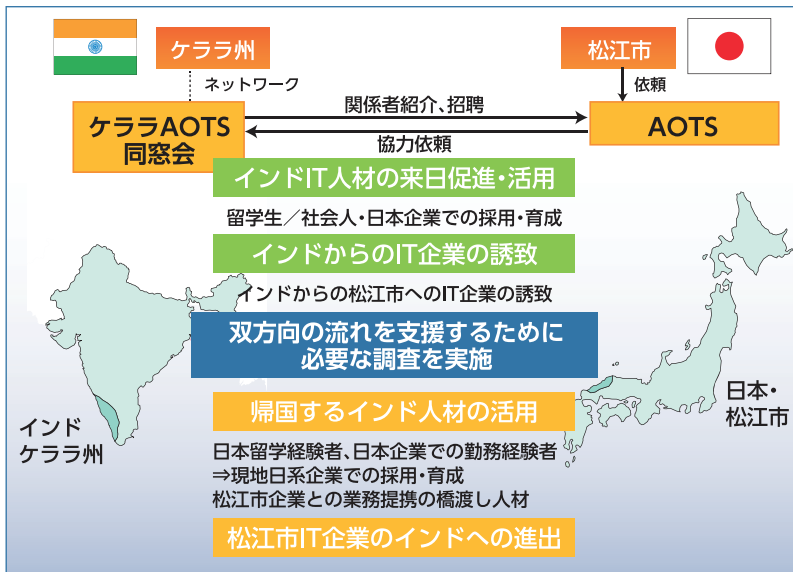
AOTSでは海外での同窓会のネットワークを活用して、日本と海外の産業の架け橋となるべく、さまざまなビジネスのお手伝いをしております。

○高度外国人受入による地域産業振興(インド)

松江市発祥のコンピューター言語「Ruby」および山陰地方(中海・宍道湖・大山圏域)のIT産業の国際化のための日印相互交流支援を2013年からインド・ケララAOTS同窓会のネットワークを活用して継続的に支援をしています。

2016年度は、インド人材受入に関する日印での各種調査、およびインド人材の来日就業体験プログラム(短期インターンシップ)を実施しました。

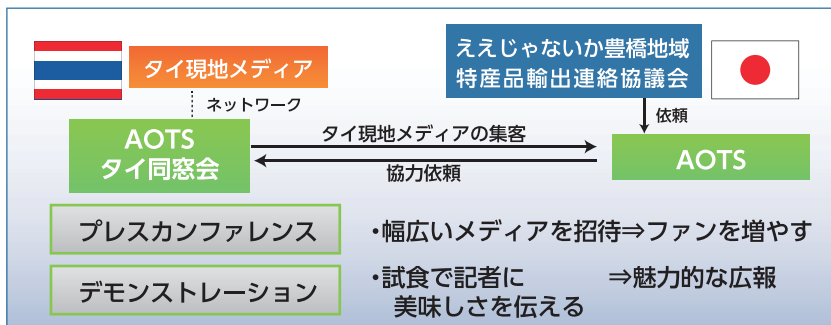
インターン受入企業からは「社員が世界へ目を向けることや英語の重要性を認識するきっかけになった」「インド人材の優秀さに驚いた」などの声があがりました。また、インド人からは「日本側の歓待の熱意に感動した」「東京より山陰の方が落ち着く、馴染み易い」「圏域での就職や進出を本気で考えたい」などの声上がり、今回のインターンをきっかけにインド人採用を開始した例も見られています。



○地域産品のプロモーション(タイ)

2015年度補正予算事業で豊橋市の特産品紹介およびインバウンド促進を支援し、AOTSタイ同窓会のネットワークを通じ、現地のテレビ局、ラジオ局、雑誌社等を日本に招聘して同地方の魅力を発信しました。これを機に豊橋市観光協会のホームページにタイ語版が誕生し、タイへのアピールが開始されました。

2016年度にはタイで豊橋特産品のPR事業としてプレスカンファレンスを実施しました。これは現地のメディアを集めて、同地方の特産品の魅力を紹介するもので、計7社のメディアで紹介されました。その結果、参加企業の1社はタイでの販売代理店が決まる等の成果がありました。



朝の情報テレビ番組で紹介
9月5日(月)PPTV



メディア向けデモンストレーション

日アセアン経済産業協力委員会 (AMEICC)事業による海外人材の 獲得支援事業について



「日アセアン経済産業協力委員会(AMEICC)」*1事務局では、2016年4月より、アセアン域内の日系企業の協力を得て現地大学等において寄付講座を設置し、講義、インターンシップ、ジョブフェア等を通じて、現地日系企業で求められる人材育成事業を実施しています。当事業のインドネシアにおける一例目として、ダルマプルサダ大学*2(以下、UNSADA)に寄付講座が開設されました。UNSADAを対象に行う寄付講座では、育成すべき人材像を「日本式モノづくりを理解し、かつ生産の効率化のための生産自動化に対応できる即戦力のエンジニア」として、現地日系企業の協力を得て「生産自動化技術者講座」を開設し、インターンシップの実施も含め3年というプロジェクト期間の中で実施しています。ここでは、寄付講座開設までの経緯をご紹介します。

インドネシアでは、自動車関連産業や電気電子産業などを中心とした日本からの直接投資の拡大や2015年末のアセアン経済共同体発足によるグローバル化の加速の影響で、製造業の競争環境は厳しさを増し「生産性向上」が経営上の最重要課題の一つになっており、日本式ものづくりの考え方をよく理解するエンジニア養成への期待が高まっています。

AMEICC事務局は、UNSADAにこのような産業界の要請にこたえるエンジニアを輩出すべく新たに工学部産業工学科に「生産自動化技術者コース」を寄付講座として設置しました。そして、AMEICC事務局機能を担うAOTSは、UNSADAやローカル企業、日本政府と連携して寄付講座の開設に向けて取り組んでいます。

寄付講座事業ではコース受講生が卒業後は日系企業に就職できるような仕組みの定着も目指しており、講座開設にあたってはジャカルタ・ジャパクラブに属する日系企業からカリキュラム開発への助言や日系企業でのインターンシップの実施といった形でご協力いただく等、現地のオールジャパンの体制で取り組んでいます。



ダルマプルサダ大学概観



フォーラムにて来賓、講演の先生方

*1 ASEAN Economic Ministerial Meeting - Ministry of Economy, Trade and Industry of Japan (METI) Economic and Industrial Cooperation Committeeの略称。アセアン諸国と日本の経済大臣会合の下に組織された「経済産業協力委員会」を指す。

*2 日本への留学経験者らによるインドネシア元留学生協会と日本インドネシア協会(会長:福田康夫元総理)が協力し、日両国への感謝の証として設立したされた大学。日本語教育が盛んな他、工学部等もある。